

2023.10月

女性チャレンジ応援拠点だより



コラム

「協調性を磨く」

ようやく秋を感じるようになりました。「異常気象」が常態化して、長い夏は今年に限ったことではなさそうですが、とにかくあっという間に10月、新年用の手帳やカレンダーも店頭に出揃います。来年の「一年の計」にも目配せする時期になりました。

さて今月の『A | 実用元年、際立つ〈あなたならではの〉の想い、チャレンジ』は、「協調性」に焦点をあてましょう。先月ご紹介した、AI時代も「創造性、協調性が必要な業務や、非定型な業務は、将来においても人が担う」といわれる「協調性」です。題して「協調性を磨く」。

念のため「協調」を辞書で調べると、「互いに協力し合うこと。特に利害や立場などの異なる者どうしが協力し合うこと」。ちなみに「協力」は、「力を合わせて事にあたること」。ずっと昔から「協調性」は集団生活や組織の一員に求められる資質の一つ、当然、仕事上の対外的な人との関わりでも大切なものです。

他社（他者）複数とのコラボ事業や地域活動での何かイベント・行事実施を想定してみましょう。公式にリーダーは設けられるでしょうが、それぞれの意図や想いも違って、例えば、初期段階の会議や打ち合わせの場面で、まわりの様子伺い、または重鎮たちが上から目線で仕切る様子が目に浮かびます。

利害や立場が違えば、判断基準は変わるでしょうし、さらに物事に対する感じ方や感覚も相当に違うはずです。「協調性」の一番大事な点は、その違いを排除せず、まずは認めて尊重することでしょう。単に他の人に調子を合わせて同調するのでもなく、何でもかんでも受け身になるのでもなく、個々が主体的であることが前提です。

その上で、共通の目的のために他の意見を受容または許容し、協力して事にあたる。

上記の会議で様子伺いの場面では、「では、わたくしからまずはお話させていただきます…」と口火をきり、声の大きい人が仕切る場面では意見が途切れたタイミングで間髪いれず、「少しよろしいでしょうか、今回の行事の目的は…」と穏やかに入り、自分の意見を述べながら、他のメンバーたちの発言を促し、リーダーの進行を助ける。

何事も本領を発揮するのはイレギュラーなことが起こった時で、「協調性」の発揮も同じでしょう。ミスやトラブルが発生した時、直接自分に関係なくても速やかに一緒に事にあたり、追って問題の原因や改善に気づけば担当者に一つの意見として伝える。

その他、様々な場面で試される「協調性」。その下地を考えてみると、主体性・自発性・多様性（を尊重する知性と感性）・察知力・コミュニケーション能力の5要素のように考えますが、いかがでしょうか。

すでにチャレンジした人も、これからチャレンジする人も、協調性に磨きをかけて、内部的にも対外的にも、事を円滑にすすめて、自身の想うところを実現していきましょう。「女性チャレンジ応援拠点」もまた協調性を発揮して、みなさんの後押しをしていきます。スタッフ一同ご利用をお待ちしております。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休業

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

